

13. 故障診断

1. 一般的な故障診断

詳細につきましては、サービスハンドブックを参照してください。

	症 状	原 因	処置または点検箇所
冷 房 ・ 暖 房 共 通	1.ファン、圧縮機とも動かない	ヒューズ、ノーヒューズブレーカーが切れている 電源プラグがはずれている 電源コードの断線	ヒューズ交換、ノーヒューズブレーカー「入」 プラグをコンセントに差込む 所定のコードに交換
	2.室内ファンは回転するが圧縮機が動かない	冷房切換スイッチの切替不良または部品不良 室温設定不適當 室温調節機構の不良 高圧圧力スイッチの動作 圧縮機不良（ロック、断線） 電圧が低い	「冷」または「暖」の切換確認、 部品交換 設定変更 室温調節機構交換 原因除去 圧縮機交換 原因調査の上、客先、電力会社へ配線の改善を申し入れる
	3.運転するとすぐ高圧圧力スイッチが働く（一部高圧圧力スイッチが付いている）	エアフィルターが極度によごれている（暖房時） 吸込口、吹出口がふさがっている	エアフィルターの清掃 障害物を取り除く
	4.運転すると過電流継電器が働く	電圧が低い 圧縮機の不良 放熱妨害	原因調査の上、客先、電力会社へ配線の改善を申し入れる 圧縮機交換 妨害物を除く

	症 状	原 因	処置または点検箇所
冷 房 ・ 暖 房 共 通	5.運転するが冷暖房効果がにぶい	室温設定不適當 室内外熱交換器の汚れ、 放熱妨害 エアフィルターの詰り 冷暖房負荷が大きすぎる 冷媒不足	設定変更 分解清掃、妨害物を除く エアフィルターを清掃する 負荷をへらすか、大形機に変更、または増設 P148～P155 機種別 冷媒配管工事資料参照
	6.水もれ	ドレンホースの詰まり ドレンホースがドレン皿より高い ドレンホースが上下に蛇行している 低圧パイプの断熱不十分	ホースの清掃または取替 ホースをドレン皿より低くする 蛇行修正、下りこう配をつける 断熱を十分に
	7.異常音	据付工事の不良 電圧降下、放熱妨害、冷媒不足等による過電流継電器または熱動温度開閉器の動作 ファンケースへの当り ファンモーターベアリングの不良 ネジのゆるみ	工事の手直し 配線工事のチェック、または放熱を十分に ファンの固定位置変更 モーター交換 締め直す
	8.暖房運転しない（ファンは回転する）	冷暖切換スイッチの不良 四方弁コイルの断線 四方弁の故障 接続線のはずれ	冷暖切換スイッチ交換 四方弁コイル交換 四方弁交換 接続する
	9.圧縮機のみしか運転しない	霜取り運転中 ファンモーター不良	しばらく待つ（10～15分） ファンモーター交換
	10.補助電気ヒーターが入らない	ヒータースイッチの不良 ヒーター本体の断線 室温設定の不適當 温度ヒューズ溶断または温度開閉器（過熱防止）の作動	スイッチ交換 ヒーター交換 設定位置変更 原因を調べ交換

2. 故障診断表示 (参考)

エアコン本体に異常が発生した場合、何の不良かを判断し室内ユニットのモニターランプ、室外ユニットの基板上でLEDの点滅や英数値の表示をします。

表示位置/異常内容(故障モード/検出内容)は、各機種により異なりますが、ここでは参考として記します。詳細は、サービスハンドブックを参照してください。

2.1 ルームエアコン室内ユニットの故障診断表

MSZ-ZXV シリーズ

デジタル表示または運転ランプ点滅により故障箇所を推測する機能です。

1回、8～12回点滅はありません。

現象	デジタル表示	運転ランプ	故障モード	検出方法
室外ユニット 点灯せず	点灯	0.5秒ごとに連続して点滅	誤配線異常停止	応急運転スイッチまたは、リモコンの「 リセット 」ボタンを押し52Cリレーが初めてONした時に、室外ユニットからのシリアル信号を5秒の間に特定回数受信できなかった時。
			シリアル信号異常停止	運転中に室外ユニットへの信号を送信してから3分間、室外ユニットからの信号を受信できなかった時。
室内ユニット 運転せず	2	2回点滅、2.5秒消灯	室内サーミスター系異常停止	主管温サーミスター・補助管温サーミスター、室温サーミスターのいずれかがショートまたはオープンした時。
	3	3回点滅、2.5秒消灯	室内ファンモーター異常停止	室内ファンモーターの回転速度フィードバック信号を検出することができなかった時。
	4	4回点滅、2.5秒消灯	室内制御系異常停止	不揮発性メモリのデータが正常に読み込めない時。
	5	5回点滅、2.5秒消灯	室外パワー系異常停止	圧縮機起動開始から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した時。または、圧縮機の起動失敗保護停止による再起動に24回失敗した場合。
	6	6回点滅、2.5秒消灯	室外サーミスター系異常停止	圧縮機運転中にサーミスターがショートまたはオープンした時。
	7	7回点滅、2.5秒消灯	室外制御系異常停止	不揮発性メモリからのデータが正常に読み込めない場合、停止する。
	13	13回点滅、2.5秒消灯	異電源投入異常停止 200V機種のみ	電源電圧がAC100Vの時。
14	14回点滅、2.5秒消灯	その他の室外異常	バルブ閉保護停止、四方弁切替異常停止または、上記以外の室外異常を検知した時。	

本体が電源ON(運転開始)してから、上記検出方法にて異常を検出すると、52Cと室内ファンモーターをOFFします。

現象	デジタル表示	全てのランプ	故障モード	検出方法
室内ユニット 運転せず	F	全てのランプが同時に連続点滅	上下フラップが正しく取付けられていない	上下フラップのリミットスイッチが導通していない時。
現象	デジタル表示	その他のランプ	故障モード	検出方法
室内ユニット 運転中	ℓ	体感温度モニターが「ℓ」と連続点滅	エアフィルターが正しく取付けられていない	おそうじメモリリミットスイッチが導通していない時。
	d	体感温度モニターが「d」と連続点滅	ダストボックスお手入れ時期	冷房、暖房などの積算運転時間が約2時間を超えた時。
	無し	スマートアイランプが「 アイ 」が連続点滅	スマートアイ又はムーブアイの異常	スマートアイ又はムーブアイが通信エラーをしたとき。
	F	フィルターおそうじメモリ自動運転を解除した場合、手動清掃をせずに運転積算時間が約50時間経過すると、運転開始時と停止時に点灯します。		
	ℓo	体感温度が7.5 以下の場合		
H	体感温度が37.5 以上の場合			



2.2 ハウジングエアコン室内ユニットの故障診断表

MLZ-RX シリーズ

運転モニターランプの点滅により故障箇所を推測する機能です。

正常時、運転モニターランプ(左)は点灯しています。 8回、10～12回点滅はありません。

現象	運転モニターランプ(左)	故障モード	検出方法
室内ユニット 点灯せず	0.5秒ごとに連続して点滅	誤配線異常またはシリアル信号異常停止	運転中に室外ユニットへの信号を送信してから最大6分間、室外ユニットからの信号を受信できなかった時。
		運転モニターランプ点灯	室外制御系異常停止
室内ユニット 運転せず	2回点滅、2.5秒消灯	室内サーミスター系異常停止	主管温サーミスター・補助管温サーミスター、室温サーミスターのいずれかがショートまたはオープンした時。
	3回点滅、2.5秒消灯	室内ファンモーター異常停止	室内ファンモーターの回転速度フィードバック信号を検出することができなかった時。
	4回点滅、2.5秒消灯	室内制御系異常停止	室内制御基板の不揮発性メモリデータが正常に読み込めない時。
	5回点滅、2.5秒消灯	室外パワー系異常停止	圧縮機起動開始から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した時。または、圧縮機起動開始から1分以内の起動失敗保護停止が連続3回発生した時。
	6回点滅、2.5秒消灯	室外サーミスター系異常停止	圧縮機運転中にサーミスターがショートまたはオープンした時。
	7回点滅、2.5秒消灯	室外制御系異常停止	インバーター制御基板の不揮発性メモリデータが正常に読み込めない時。
	9回点滅、2.5秒消灯	ドレン異常停止	・フロートセンサーがオープン ・フロートセンサーが異常水位を検知
	13回点滅、2.5秒消灯	異電源投入停止	電源電圧が100Vの時。
	14回点滅、2.5秒消灯	その他の室外異常	バルブ閉保護停止、四方弁切替異常停止または、上記以外の室外異常を検知した時。

注: 室内ユニットが運転を開始して上記の異常を検出した場合(電源入後、最初に検出)、室内制御基板が室内ファンモーターを停止し、運転ランプが点滅します。

現象	全てのランプ	故障モード	検出方法
室内ユニット 運転せず	運転モニターランプ(左)は点灯 運転モニターランプ(右)は連続点滅	マルチスタンバイ	それぞれの室内ユニットが異なる冷房(除湿含む)、暖房設定を同時に行った場合、最初に運転した室内ユニットの設定が優先されます。

注: 室内ユニットが運転を開始して上記の異常を検出した場合(電源入後、最初に検出)、室内制御基板が室内ファンモーターを停止し、運転ランプが点滅します。

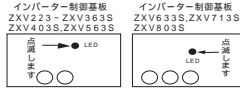
【連続点滅以外の点滅パターン】



2.3 ルームエアコン・インバーター制御基板のLEDモニター表

MSZ-ZXVシリーズ

- 注1.LEDの位置は右図に表示します。
 2.正常時はLEDが常に点灯しています。
 3.LEDを直視できない場合がありますので、右図で示すLED実装近傍を注視し、ご確認ください。



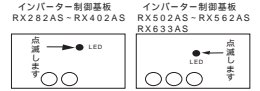
現象	LEDの表示	故障モード	検出方法	
室外機運転せず	1回点滅、0.5秒2.5秒消灯	室外パワー系異常停止	圧縮機起動から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した場合、または圧縮機の起動失敗保護停止による再起動に24回失敗した場合。	
	6回点滅、2.5秒消灯	室外サーミスター系異常停止	圧縮機運転中にサーミスターがショートまたはオープンした場合、圧縮機を停止する。	
	9回点滅、2.5秒消灯	室外制御系異常停止	不揮発性メモリのデータが正常に読み込めない場合に停止する。電源電圧または母線電圧が検出できない場合に停止する。	
	11回点滅、2.5秒消灯	シリアル信号異常停止	室内機と3分間正常に通信ができない場合、シリアル通信異常とする。	
	11回点滅、2.5秒消灯	異電圧印加異常	200V機種に100V電源が接続された場合、室外機は運転しない。	
「室外機が運転停止し、3分経過後再運転する」を繰り返す	2回点滅、2.5秒消灯	過電流保護停止	パワーモジュールに過大な電流が流れた場合、圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。圧縮機起動後10秒以内に発生した場合は、15秒後に再起動を行う。(最大24回)	
	3回点滅、2.5秒消灯	吐出過昇保護停止	吐出温サーミスターの検出温度が116 以上になった場合に圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。(復帰は吐出温サーミスターの温度が100 以下になった場合)	
	4回点滅、2.5秒消灯	フィン温/基板温サーミスター過昇保護停止	インバーターヒートシンク上のサーミスター温度が約75 以上になった場合、または基板温サーミスターの温度が約75 以上になった場合、圧縮機の運転を停止し3分後再起動する。	
	5回点滅、2.5秒消灯	高圧過昇保護停止	暖房の場合は室内機の冷媒配管の温度が70 以上になった場合、冷房の場合は霜取温サーミスターの温度が70 以上になった場合。	
	8回点滅、2.5秒消灯	圧縮機同期異常停止	圧縮機電流の歪み量により検出する。	
	10回点滅、2.5秒消灯	室外ファン保護停止	ファン起動30秒以内のファン異常停止が連続3回発生した場合。	
	12回点滅、2.5秒消灯	圧縮機相電流保護停止	圧縮機の相電流が正常に検出できない場合。	
	13回点滅、2.5秒消灯	母線電圧検出保護停止	インバーター回路の直流電圧が正常に検出されない場合。	
	16回点滅、2.5秒消灯	四方弁切替異常停止	四方弁が正常に切替わらなかった場合。	
	室外機は運転する	1回点滅、0.5秒2.5秒消灯	電流保護周波数低下	コンセント電流がZXV223,ZXV253,ZXV283,ZXV363,ZXV563Sは約14A,ZXV283S,ZXV363Sは約9A,ZXV403Sは約11A,ZXV633S,ZXV713S,ZXV803Sは約16Aを超えた場合、圧縮機周波数を下げる。
		3回点滅、2.5秒消灯	高圧保護周波数低下	暖房運転時に冷媒配管の温度が55 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。
		4回点滅、2.5秒消灯	冷房電取り周波数低下	冷房運転時に管温サーミスターの温度が8 以下になった場合に圧縮機の運転周波数を下げる。
		4回点滅、2.5秒消灯	吐出温度保護周波数低下	吐出サーミスターの温度が111 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。
		5回点滅、2.5秒消灯	外気温サーミスター保護運転	外気温サーミスターがショートまたはオープンした場合に外気温サーミスターなしで保護運転を行う。
		7回点滅、2.5秒消灯	吐出温低下保護	低吐出温状態50 以下が20分続いた場合。
		8回点滅、2.5秒消灯	コンバーター保護停止	パワーモジュールに過電流が流れた場合、または母線電圧が過電圧保護レベルまで上昇した場合に、コンバーター制御を停止する。(圧縮機、室外ファンは運転)
9回点滅、2.5秒消灯		インバーターチェックモード	圧縮機接続コネクターがはずれている場合、インバーターチェックモードに入ります。	

2.4 ルームエアコン・インバーター制御基板のLEDモニター表

MLZ-RXシリーズ

注1.正常時はLEDが常に点灯しています。

- 注1.LEDの位置は右図に表示します。
 2.正常時はLEDが常に点灯しています。
 3.LEDを直視できない場合がありますので、右図で示すLED実装近傍を注視し、ご確認ください。



現象	LEDの表示	故障モード	検出方法	
室外機運転せず	1回点滅、0.5秒2.5秒消灯	室外パワー系異常停止	圧縮機起動から1分以内の過電流保護停止が連続3回発生した場合、または圧縮機の起動失敗保護停止による再起動に24回失敗した場合。	
	6回点滅、2.5秒消灯	室外サーミスター系異常停止	圧縮機運転中にサーミスターがショートまたはオープンした場合、圧縮機を停止する。	
	9回点滅、2.5秒消灯	室外制御系異常停止	不揮発性メモリのデータが正常に読み込めない場合に停止する。電源電圧または母線電圧が検出できない場合に停止する。	
	11回点滅、2.5秒消灯	シリアル信号異常停止	室内機と3分間正常に通信ができない場合、シリアル通信異常とする。	
	11回点滅、2.5秒消灯	異電圧印加異常	200V機種に100V電源が接続された場合、室外機は運転しない。	
「室外機が運転停止し、3分経過後再運転する」を繰り返す	2回点滅、2.5秒消灯	過電流保護停止	パワーモジュールに過大な電流が流れた場合、圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。圧縮機起動後10秒以内に発生した場合は、15秒後に再起動を行う。(最大24回)	
	3回点滅、2.5秒消灯	吐出過昇保護停止	吐出温サーミスターの検出温度が116 以上になった場合に圧縮機の運転を停止し、3分後再起動する。(復帰は吐出温サーミスターの温度が100 以下になった場合)	
	4回点滅、2.5秒消灯	フィン温/基板温サーミスター過昇保護停止	インバーターヒートシンク上のサーミスター温度が約75 以上になった場合、または基板温サーミスターの温度が約75 以上になった場合、圧縮機の運転を停止し3分後再起動する。	
	5回点滅、2.5秒消灯	高圧過昇保護停止	暖房の場合は室内機の冷媒配管の温度が70 以上になった場合、冷房の場合は霜取りサーミスターの温度が70 以上になった場合。	
	8回点滅、2.5秒消灯	圧縮機同期異常停止	圧縮機電流の歪み量により検出する。	
	10回点滅、2.5秒消灯	室外ファン保護停止	ファン起動30秒以内のファン異常停止が連続3回発生した場合。	
	12回点滅、2.5秒消灯	圧縮機相電流保護停止	圧縮機の相電流が正常に検出できない場合。	
	13回点滅、2.5秒消灯	母線電圧検出保護停止	インバーター回路の直流電圧が正常に検出されない場合。	
	16回点滅、2.5秒消灯	四方弁切替異常停止	四方弁が正常に切替わらなかった場合。	
	室外機は運転する	1回点滅、0.5秒2.5秒消灯	電流保護周波数低下	コンセント電流が約15Aを超えた場合、圧縮機周波数を下げる。
		3回点滅、2.5秒消灯	高圧保護周波数低下	暖房運転時に冷媒配管の温度が55 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。
		4回点滅、2.5秒消灯	冷房電取り周波数低下	冷房運転時に管温サーミスターの温度が8 以下になった場合に圧縮機の運転周波数を下げる。
		4回点滅、2.5秒消灯	吐出温度保護周波数低下	吐出サーミスターの温度が111 を越えた場合、圧縮機の運転周波数を下げる。
		5回点滅、2.5秒消灯	外気温サーミスター保護運転	外気温サーミスターがショートまたはオープンした場合に外気温サーミスターなしで保護運転を行う。
		7回点滅、2.5秒消灯	吐出温低下保護	低吐出温状態50 以下が20分続いた場合。
		8回点滅、2.5秒消灯	コンバーター保護停止	IGBTに過電流が流れた場合、または母線電圧が過電圧保護レベルまで上昇した場合に、コンバーター制御を停止する。(圧縮機、室外ファンは運転)
9回点滅、2.5秒消灯		インバーターチェックモード	圧縮機接続コネクターがはずれている場合、インバーターチェックモードに入ります。	

2.5 システムマルチインバーター制御基板の LED モニター表

MXZ-602AS・682AS・712AS・802AS

注 1. 正常時は LED が常に点灯しています。

現象	LEDの表示		故障モード	検出方法
	LED1	LED2		
室外機運転せず	点灯	2回	室外パワー系異常停止	圧縮機起動から1分以内に過電流保護停止が連続3回発生した場合。または、圧縮機起動から3分以内にコンバータ保護停止、母線電圧保護停止(1)が連続3回発生した場合。
	点灯	3回	吐出温サーミスター異常停止	運転中にサーミスターがショートまたはオープンになった場合。
	点灯	4回	フィン温サーミスター異常停止 基板温サーミスター異常停止	
	点灯	5回	霜取サーミスター異常停止	
			外気温サーミスター異常停止 外熱交中間温サーミスター異常停止	
	点灯	7回	室外制御系異常停止	
	点灯	8回	電流センサー異常停止	運転中に圧縮機電流検出回路がショートまたはオープンになった場合。
	点灯	9回	異電圧印加異常停止	運転開始時に母線電圧が210V以下の場合。
	点灯	11回	LFM通信異常停止	インバーター制御基板とパワー基板との間の通信ができない場合。
	点灯	12回	ゼロクロス検出回路異常停止	運転中に電源周期を検出できない場合。
「室外機が運転停止し、3分経過後再運転する」を繰り返す。	2回	消灯	過電流保護停止 (IPM保護停止) (ロック保護停止)	運転中にパワーモジュールに過大な電流が流れた場合。
	3回	消灯	吐出温度過昇保護停止	運転中に吐出温度が116 以上になった場合。
	4回	消灯	フィン温度過昇保護停止	運転中にフィン温度が87 以上(602ASは89 以上)になった場合。
			基板温度過昇保護停止	運転中に基板温度が87 以上(602ASは72 以上)になった場合。
	5回	消灯	高圧過昇保護停止	冷房運転中に外熱交中間温度が70 以上になった場合または、暖房運転中に室内配管温度が70 以上になった場合。
			高圧過昇保護停止	運転中に高圧スイッチ(HPS)が作動した場合。
	8回	消灯	コンバーター保護停止	運転中にコンバーター回路に過大な電流が流れた場合。
	9回	消灯	母線電圧保護停止(1)	運転中に母線電圧が200V以下、または400V以上になったことをパワー基板が検知した場合。
			母線電圧保護停止(2)	運転中に母線電圧が50V以下、または400V以上になったことをインバーター制御基板が検知した場合。
	11回	消灯	低外気保護停止	外気温が運転範囲を超えて低くなった場合。
13回	消灯	室外ファン保護停止	ファンモーターに過大な電流が流れた場合または位置検出信号が異常になった場合に、ファンモーターを停止し30秒後に起動する。ファン起動から30秒以内のファン異常が連続3回発生した場合に圧縮機を停止する。	

現象	LEDの表示		故障モード	検出方法
	LED1	LED2		
室外機は運転する	1回	点灯	入力電流保護周波数低下	運転中に室外機の入力電流が16A以上(602ASは15A以上)になった場合。
			圧縮機電流保護周波数低下	運転中に圧縮機駆動電流が13A以上になった場合。
	2回	点灯	冷房霜取り周波数低下	冷房運転中に室内配管温度が10 以下になった場合。
			暖房高圧過昇保護周波数低下	暖房運転中に室内配管温度が41 以上(602ASは45 以上)になった場合。
	3回	点灯	吐出温度過昇保護周波数低下	運転中に吐出温度が100 以上になった場合。
	4回	点灯	吐出温度低下保護周波数低下	吐出温度が冷房運転中は50 以下、暖房運転中は40 以下の状態が40分以上継続した場合。
	5回	点灯	冷房高圧過昇保護周波数低下	冷房運転中に外熱交中間温が55 以上(602ASは49 以上)に上昇した場合。
	9回	点灯	インバータチェックモード	室内機の応急運転スイッチで運転した場合。

<MXZ-125RAS 室外ユニット点検表示機能>

[室外制御基板使用]

室外制御基板上にLEDを追加し、異常発生時にはLEDの点滅で、内容を判別します。

【表示方法】

(1)通常状態

状態	エラーコード	内 容
電源投入時(立上げ時)	- -	交互点滅表示
停止	00等	運転モード表示
拘束通電	08等	
運転	C5,H7等	

(2)異常状態 (LEDに異常コードが表示されます。自己診断処置表を参照ください。)

異常項目		
内容	異常コード 1	判定方法
室外-分岐接続誤配線	EA	分岐ボックスと室外ユニットの室外-分岐接続線が正しく接続されているかチェック
室外-分岐接続誤配線(テレコ、はずれ)	Eb	電源及び室外-分岐接続線上のノイズチェック
立上げ時間オーバー	EC	電源を切り、再投入して再確認
室外-分岐通信異常(受信異常)分岐検出	E6	分岐ボックスと室外ユニットの室外-分岐接続線が正しく接続されているかチェック
室外-分岐通信異常(送信異常)分岐検出	E7	電源及び室外-分岐接続線上のノイズチェック
室外-分岐通信異常(受信異常)室外検出	E8	分岐制御基板及び室外制御基板上のノイズチェック
室外-分岐通信異常(送信異常)室外検出	E9	電源を切り、再投入して再確認
エラーコード未定義	EF	室外-分岐接続線上のノイズチェック 電源を切り、再投入して再確認
シリアル通信異常 <室外制御基板 - パワー基板間通信>	Ed	室外制御基板及びパワー基板上のコネクタ(CN4)がはずれていないかチェック
吐出(シール)温度異常(TH4) 2	U2	ストップバルブが開になっているか確認
低吐出(シール)スーパーヒート異常 2	U7	室外制御基板上のコネクタ(TH4)分岐ボックス制御基板のコネクタ(LEV)がはずれていないかチェック 冷媒が規定量封入されているかチェック 電子膨張弁の各端子間をテストにて抵抗値測定
低圧圧力異常	UL	ストップバルブが開になっているか確認 電子膨張弁の各端子間をテストにて抵抗値測定
室外ファンモータ回転数異常	U8	室外ユニットの風路ショートサイクル確認 室外熱交換器の汚れチェック 室外ファンモータのチェック

異常項目		
内容	異常コード 1	判定方法
圧縮機過電流遮断(ロック)	UF	ストップバルブが開になっているか確認
圧縮機過電流遮断	UP	圧縮機の配線のゆるみ・はずれ・テレコをチェック
電流センサ異常(P.B)	UH	圧縮機の各端子間をテストにて抵抗値測定
パワーモジュール異常	U6	室外ユニットの風路ショートサイクル確認
吐出(シール)サーミスタ(TH4) オープン/ショート 2	U3	室外制御基板上のコネクタ(TH3)(TH4)(TH6/7)、パワー基板上のコネクタ(CN3)
室外サーミスタ(TH3/TH6/TH7/TH8) 分岐ボックス(TH-A~E) オープン/ショート	U4	はずれていないかチェック 室外サーミスタの抵抗値測定 分岐サーミスタ(TH-A~E)のコネクタチェック 分岐サーミスタの抵抗値チェック
放熱板温度異常	U5	室内ユニット及び室外ユニットの風路チェック ショートサイクル確認 室外サーミスタ(TH8)の抵抗値測定
低吐出(シール)スーパーヒート異常 2 配管テレコ異常	U7	吐出(シール)サーミスタ(TH4)のコネクタがはずれていないかチェック 分岐ボックスの誤配線、誤配管をチェック
室外ファンモータ回転数異常	U8	ファンモータのチェック
電圧異常	U9	圧縮機の配線のゆるみ・はずれ・テレコをチェック 圧縮機の各端子間をテストにて抵抗値測定 リレー(52C)への導通チェック 電源電圧低下の確認 CN52Cの配線チェック

1. 室外制御基板上の7SEG LEDで表示する異常コード

2. 125RAS 2は吐出はシールとなります。

2.6故障モード呼出し機能

機能概要(機種により操作手順が異なります。)

このエアコンは一度でも故障すると故障モードを記憶することができます。故障診断早見表の内容が表示されていない場合でも記憶している故障モードを呼び出すことができ、修理時の再現しない不良に対しても効力を発揮します。

例 MSZ-ZXV 3(S)シリーズ 故障モード呼出し操作手順(設定温度24での呼出)

異常表示が再現せず原因が判らない。

<故障モード呼出しの設定方法>

リモコンの(風)ボタンと(入)ボタンを同時に押したまま、電池近くのリセットボタンを押します。
リセットボタンを離れた後、3秒間(風)ボタンと(入)ボタンを同時に押し続けてください。
<リモコンの液晶部が右図のようになりますので確認してください>

リモコンの(運転入/切)ボタンを押してください。
正常・異常に関わらず、「ピッ」という受信音がします。
室内機に向かって、リモコンの(上)ボタンを押して設定温度を24に設定してください。

室内機デジタル表示00
または
運転ランプ点滅の場合
室内機デジタル表示の数字またはアルファベットを確認してください(数字またはアルファベットが点灯します)。

室内機デジタル表示00
以外または
運転ランプ点滅の場合

故障モード記憶内容一覧<室内> <室外>を参照し、デジタル表示または、運転ランプ点滅の内容を確認してください(運転ランプが3秒間点灯したあと、点滅を行った場合は室外機の異常です。)

「室内機詳細故障モード呼出」および「室外機詳細故障モード呼出」操作手順に従って操作を行い、異常の有無を確認してください。

<故障モード呼出しの解除方法>

室内機のコンセントを抜き、再び差し込みます。
リモコンのリセットボタンを押します。

<異常内容の消去方法>

上記の「故障モード呼出しの設定方法」に従ってリモコンを設定し、再度故障モード呼出しに設定してください。
室内機の(緊急運転)スイッチを押してください。消去が完了するとデジタル表示が00になります。
本操作を行わなかった場合、最後に発生した異常内容を記憶したままになります。
最後に「故障モード呼出しの解除方法」に従い、解除をしてください。

補足1

故障モード呼出し時の設定温度について
設定温度24 室内機と室外機の一部の異常モードを表示します。
設定温度23 室内機の詳細故障モードを表示します。
設定温度25 室外機の詳細故障モードを表示します。
24 設定で表示される異常内容と、室内・室外それぞれの詳細故障モード呼出しにしないと表示されない異常内容があります。

補足2

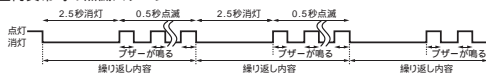
故障モード呼出しに設定した場合は、必ず解除をしてください。正常運転できなくなります。

補足3

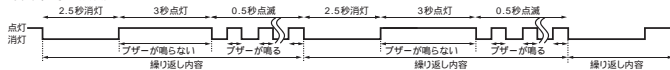
ブザー音と運転ランプの点滅について
室内機デジタル表示に00以外のコードを表示しているとき、運転ランプの点滅とブザー音がします。運転ランプ点滅およびブザー音の回数を数えて異常内容を確認することもできますが、コード表示を確認の方が容易です。

室内外異常時の運転ランプの点滅

<室内異常時の点滅パターン>



<室外異常時の点滅パターン>



例 MLZ-RX 2ASシリーズ 故障モード呼出し操作手順(設定温度24での呼出)

異常表示が再現せず原因が判らない。

<故障モード呼出しの設定方法>

リモコンの(風速)ボタンと温度(0)ボタンを押したまま、(リセット)ボタンを押し(リセット)ボタンを先に離します。
(リセット)ボタンを離れた後、3秒間(風速)ボタンと温度(0)ボタンを押し続けてください。
<リモコンの液晶部が右図のようになりますので確認してください。>

リモコンの(入/切)ボタンを押してください(設定温度が表示されます)。
正常/異常に関わらず、「ピッ」という受信音がします。
室内機に向かって、リモコンの温度(0)または温度(0)ボタンを押して設定温度を24に設定してください。

室内機の運転モニターランプ(左)が点滅していることを確認してください。

点滅の場合

故障モード記憶内容一覧<室内>を参照し、運転モニターランプ(左)点滅の内容を確認してください(運転モニターランプ(左)点滅の確認のとき3秒間点灯した場合は、室外機の異常です。)

「室内機詳細故障モード呼出」および「室外機詳細故障モード呼出」操作手順に従って操作を行い、異常の有無を確認してください。

<異常内容の消去方法>

上記の「故障モード呼出しの設定方法」に従ってリモコンを設定し、再度故障モード呼出しに設定してください。
室内機の(緊急運転)スイッチを押してください。
本操作を行わなかった場合、最後に発生した異常内容を記憶したままになります。
最後に「故障モード呼出しの解除方法」に従い、解除をしてください。

<故障モード呼出しの解除方法>

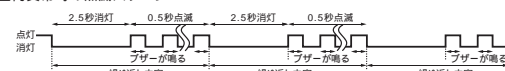
故障モード呼出し/室外機詳細故障モード呼出しで使用しないボタン(ex. (冷房)ボタン)を室内機に向けて押すと、室外機故障モード呼出しを解除します。
又は
ブレーカーを切り、再びブレーカーを入れます。
リモコンの(リセット)ボタンを押します。

<補足>

故障モード呼出しに設定した場合は、必ず解除してください。正常運転できなくなります。
異常内容の消去を行わなかった場合、最後に発生した異常内容を記憶しています。

室内外異常時の運転モニターランプ(左)の点滅

<室内異常時の点滅パターン>



<室外異常時の点滅パターン>

